保管用

Tajima

ご使用前に必ずお読みください。

厚生労働省「安全帯の規格」適合品

タジマ安全帯

1本つり専用ランヤード

2丁掛けロープ 取扱説明書 1版

このたびは、《タジマ安全帯 1本つり専用ランヤード 2丁掛けロープ》をお買い上げいただきありがとうございます。本品は、建設工事現場・工場等の高所作業に用いる安全帯で、労働安全衛生法第42条の規定に基づく「安全帯の規格」に合わせて製造したものです。ご使用になる前にこの取扱説明書と必ず同梱している「タジマ安全帯 取扱説明書」を併せてよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、ご使用ください。⚠危険・⚠警告・⚠注意の項目は、事故を未然に防ぐために厳守してください。この取扱説明書は、いつでも活用できるよう大切に保管してください。
また、より安全なご使用のため、産業安全研究所技術指針「安全帯使用指針」（NIIS-TR-No.37（2004））の併読をお奨めいたします。

取扱説明書を紛失された場合は、弊社HPにも掲載しておりますので、プリントアウトして保管してください。
HPアドレス：http://www.tajimatool.co.jp
(HPトップページ右側にある「取扱説明書」のボタンをクリックしてください)

この安全帯は1本つり専用です。

必ず同梱の「タジマ安全帯 取扱説明書」もお読みください

株式会社TJMデザイン　0120-125577 www.tajimatool.co.jp

54204
WA12093000

1. 用途

このランヤードは**1本つり★専用**です。その使用例および用途は次のとおりです。

種類	使用例	用途
セカンドランヤード		足場のある高所作業での移動中に障害物があっても、常時どちらかのロープを構造物に取り付け、万一の墜落時の災害を防止するために使用します。

●体重（装備重量）* の制限について

体重は 100kg 以下でご使用ください。
体重が 100kg を超えると墜落時に大きな衝撃荷重が加わり、安全帯が破断して重大な事故が起こるおそれがありますので使用しないでください。
*体重（装備重量）：体重と装着する全ての物の合計重量

2. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

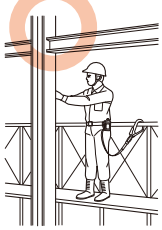
⚠危険 誤った使い方をしますと、墜落などの危険性がありますので、絶対にやめてください。

●ランヤード2本式安全帯の「安全帯の規格」適合の可否について（1本つり専用安全帯の場合）

1本つり★専用安全帯は、厚生労働省の「安全帯の規格」によってU字つり★★できない構造であることが定められています。一般のランヤードを2本目のランヤードとして使用した場合、フックを反対側の接続環に掛けることができ、U字つり使用できる構造となります。これは規定の禁止事項に抵触することになります。そこでU字つりできない構造にするために専用の2丁掛けロープを使用してください。またメインランヤードも「2丁掛け適合表」を見て対応してください。

正しい使い方

★1本つり
構造物にフックを直接掛けたり、ランヤードを構造物に回しランヤードの取付点と同じ側にフック掛けて、ランヤードに体重を掛けない状態。



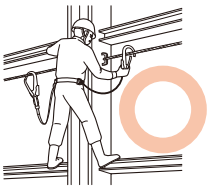
間違った使い方

★★U字つり
ランヤードのフックを構造物に回し、フックを反対側のD環に掛けて、ランヤードがUの字状で、ランヤードに体重を預けた状態。

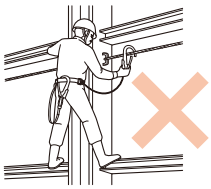
●2本のランヤードのどちらか一方を構造物と必ず連結させてご使用してください。

移動したい所にセカンドランヤードを取り付けてから、これまで掛けていたメインランヤードを外し、これを交互に繰り返して移動します。フックを掛け替える時は、必ずメイン・セカンドどちらかのランヤードが構造物に掛かっているようにしてください。

正しい使い方



間違った使い方



セカンドランヤードを掛ける前にメインランヤードを外すと無ランヤード状態となり、墜落する危険性があります。

●タジマ安全帯 2丁掛け適合表

※メイン/セカンドランヤードを左右別々に取り付けた場合の適合表になります。

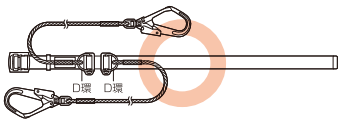
セカンドランヤード		メインランヤード：リール式 TR150	MR110	Gリール	ロープ式 ロープ式ランヤード(L3S/L3D)	2丁掛けロープ
リール式	TR150	○※1	○※1	×	×	○※1
	MR110	○※1	○	×	×	○
	Gリール	×	×	×	×	×
ロープ式	ロープ式ランヤード(L3S/L3D)	×	×	×	×	×
	2丁掛けロープ	○※1	○	×	×	○

※1 TR150を2丁掛けで使用する場合は必ず別売のTR150用フックハンガーを外部フック取付環に取り付けてください。

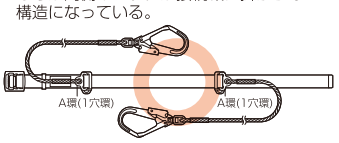
●「安全帯の規格」に適合する組合せ

※両ランヤードのフックが一般型（L1/L2/L3）の場合

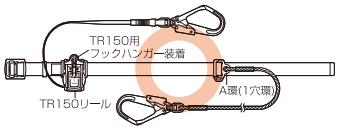
①ランヤードの取付位置がベルトの**片側**に2箇所ある場合



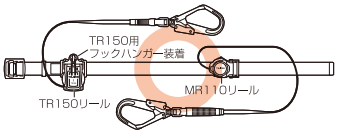
②ランヤードの取付位置がベルトの2箇所にあるが両側のフックが接続環に掛からない構造になっている。



③メインランヤード巻取り式

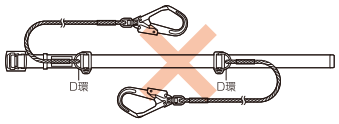


④メイン/セカンドランヤード巻取り式

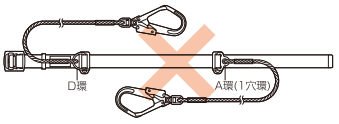


●「安全帯の規格」に適合しない組合せ

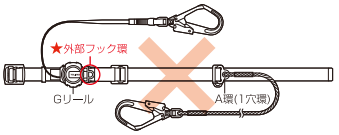
⑤お互いに相手側のD環にフックが掛かる



⑥右側ランヤードのフックが左側のD環に掛かる



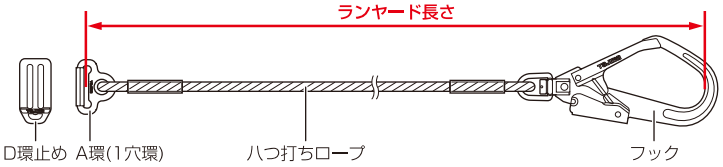
⑦左側ランヤードのフックは右側のD環には掛からないが、右側ランヤードのフックは巻取り器の外部フック取付環★に掛かる



※1 TR150は別売のTR150用フックハンガーを外部フック取付環に取り付ければ、2丁掛け対応になります。（図③）

3. 構造、各部名称および使用方法

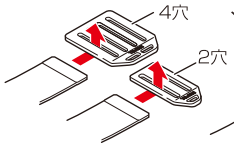
●2丁掛けロープ



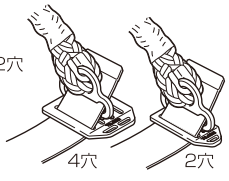
※イラストはより戻し付スチールフックタイプです。

●胴ベルトへのランヤード（A環/1穴環）の取り付け

①ベルトをD環止めの最初の長穴に通します。



②ベルトにA環(1穴環)を通します。



③D環止めの長穴にベルトを順次図のように通します。